

You, Unlimited



RYUKOKU
UNIVERSITY

龍谷大学

心理学部

2025

Faculty of

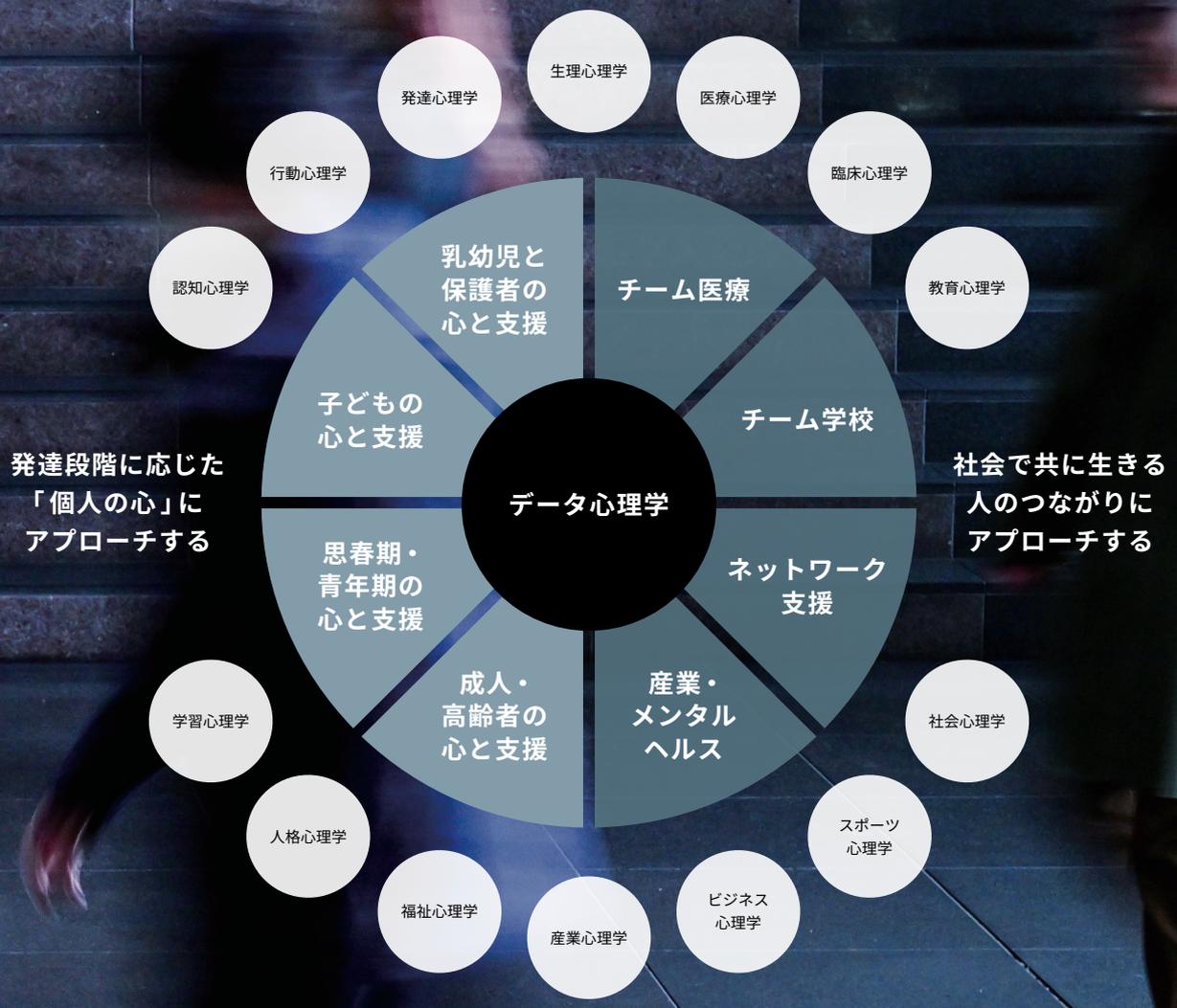
Psychology



More United More Empowered

心のつながりを探究し、社会に力を生み出す

誰もが自分らしく生き、支え合える社会を実現するために。大切なのは、誰か一人の心だけではなく、社会を形成する人と人とのつながりを深く理解し、他者と共に行動していくことです。龍谷大学心理学部では、実践的な学びを通じて人間関係の大切さを探究。現代社会の課題を、心理学的アプローチから解決に導ける力を養います。





フレッシューズゼミプレゼン大会

満員の聴衆を前にチームで考え抜いた 龍谷大学の魅力を伝える

心理学部では、1年次の第1 Semesterにフレッシューズゼミが行われます。これは、新入生が大学での学び方を実践的に身につける授業です。そして、学びの成果を発揮する場が「フレッシューズゼミ対抗プレゼン大会」。テーマをもとに各クラスから選出された10チームが大会に臨みます。

論理立てて考える方法と 伝わる文章の書き方をゼミで学ぶ

高校と違い大学では主体的な学びが重視されます。特に社会で必要とされる課題解決能力は学生時代にこそ身につけるべき力です。その基本となるのが情報を多角的にとらえる視点と発信する能力です。フレッシューズゼミでは、論理的な思考力や文章表現力を実践的に学び、そうした力を自然と養えます。大学での学修方法の基礎にもなります。

主体的になることで課題解決が スピードアップすると実感

大会までにグループワークや発表を繰り返して行っているので、物事の見方や伝え方が実践的に身につけられます。答えのない課題に対して、自分が主体となり挑む姿勢へと徐々に変化するのを感じることができました。その集大成がフレッシューズゼミ対抗プレゼン大会への出場です。まず、クラス内で代表選出のためのプレゼンを行います。そこで一つのチームを決めて、大会へ進みます。チームメンバー

は4人でしたが、話し合いのなかで、それぞれがすべきことを決めていきます。リーダーや書記などの役割がなくてもスムーズに進んだのは、それまでの成果だと感じています。一人ひとりが主体的になることで、物事がうまく回る経験を積むことができたのです。今回の大会では「高校生に伝えたい龍谷大学の魅力！」がテーマとされました。クラス代表となった私たちのチームが考えた発表のタイトルは「程よい」龍谷大学でした。あえて一番ではない魅力にスポットを当てました。

優勝という成果を得て 自分たちの成長を感じられた

大会の場所は成就館メインシアターで、発表時はほぼ満席状態。何度も発表の練習をしてきましたが、とても緊張していたのを覚えています。発表中は、メンバーによる合いの手など、聴衆の笑いを誘いながら5分の発表を無事完走しました。来場者による投票の結果、私たちのチームが優秀賞に。論理的な思考力、コミュニケーション力など、短期間で成長を実感できた取り組みでした。



櫻井 洋輝さん

1年生
(三重県 高田高等学校 出身)



熊谷 詩月さん

1年生
(宮城県気仙沼高等学校 出身)

人と人を「隔てる」壁が 「つながる」きっかけに

コロナ禍で普及したアクリルボードが、その処分をめくり社会問題になっています。不要となったアクリル板の多くが産業廃棄物として焼却され、環境への影響が懸念されています。また新型コロナウイルスは、つながりの希薄化にさらに拍車をかけました。こうした現状を背景に私たちが取り組んでいるのが「#ツナガルアクリルプロジェクト」です。飲食店などから回収したアクリル板をアップサイクル（創造的再利用）して実用品へと再生し、環境問題への貢献、コミュニケーションのきっかけづくりにつなげています。

持続可能なアップサイクルが つながりの場を広げる

回収したアクリル板は、看板や時計盤など、私たちの手でアップサイクルを行い、店舗や施設に提供してきました。現在は、地域の団体と連携したアクリル工作のワークショップ企画のほか、企業とのコラボも計画中で

す。現状の課題としては、アップサイクルには時間や労力がかかるという点です。効率的なアップサイクル体制が確立できれば、さらに多くのアクリル板が救われ、コミュニケーションの場も広がるはず。この活動の意義を高め、持続可能なものとするべく、人や企業とのつながりを一層強固にしていきたいと考えています。

社会課題と向き合うなかで 心への理解が深まった

有志が主体となつてすすめる課外活動であるにもかかわらず、このプロジェクトに関心を寄せる学生は少なくありません。現在は、学部異なる学生がそれぞれの専門性を活かしながら、プロジェクトを推進しています。垣根を越えて関係を築き、心を通わせた経験は、心理学への理解を深めるうえで大いに活かせると思います。組織のあり方、個人が担う役割を考えるにも、心理学の学びが役立つでしょう。今後も「#ツナガルアクリルプロジェクト」とおして社会の課題と向き合い「心」のつながりを広げていきたいです。



森 彩花さん

1年生
(N高等学校(江坂キャンパス)出身)



坂川 奈々乃さん

1年生
(福井県立武生高等学校出身)

#ツナガルアクリルプロジェクト

環境問題と「つながりの希薄化」 アクリルボードで解決を図る

廃棄予定のアクリルボードを、人々がつながるきっかけ、コミュニケーションツールとして利活用する「#ツナガルアクリルプロジェクト」。取り組みを通じて社会課題の解決をめざすなかで、当事者意識のもとで問題と向き合う姿勢や、所属や立場が異なる人々との協働力が身につきます。

人の行動を読み解く心理学

行動や人間関係の心理を解明し 社会の諸課題にアプローチする

普段、私たちが何気なく取っている行動の一つひとつには、実は心理的な背景があります。その複雑なメカニズムを解きほぐすことで明らかになる「こころ」に関する知識を対人関係や支援、ケアなど、実生活・実社会のさまざまな場面で役立てていく学問が、心理学です。

日常行動や対人関係を 「心理」から分析する

心理学は、私たちの暮らしや人生全般に密接に関わっています。その学問対象は家庭や学校、職場での人間関係からさまざまな行動、症例まで幅広く、それぞれの領域で研究成果が活用されています。なぜそのような行動するのか、なぜ誤解やトラブルが生じるのか。それらの背景を心理学の学びをとおして明らかにすることで、より心豊かな生活を送るための糸口を見出せると考えています。私自身は、虐待や不登校、家族関係など児童福祉・教育の分野における諸問題を、コミュニケーションの視点から研究しています。

想像力や思いやりを育む 対話型の授業

私が担当しているのは、主に1～2年次のゼミや公認心理師受験資格課程の実習科目、講義などです。専門的な心理学の知識はもちろん、社会に出てからも活かせる力を養ってほしいと考え、学生同士が対話できる機会を

できるだけ多く設けています。さまざまな人の意見を聞きながら語り合うことで、多様な視点から物事をとらえる柔軟な思考力や、相手を尊重する姿勢が身につくはず。授業に参加する学生には、身近な出来事や社会問題に関する疑問を解き明かそうと意欲的に学んでいる人が多いように感じます。

「こころ」を学べば 人生がより心豊かに

心理学は、多角的なアプローチで「こころ」の不思議を探究していく学問です。それまで当たり前のように思っていたことや、違和感があったもののうまく言語化できなかったことなど、人の行動一つひとつを成り立たせている心理の仕組みがわかるようになると、日常風景の見え方もきっと変わるでしょう。その奥深さを楽しく真剣に学修していくうちに、自分自身や他者のことが理解できるようになってきます。ぜひあなたも一緒に心理学を学んで、そのなかで得た知見を、これからの社会生活や人生に大いに活かしてください。



廣橋 諒一准教授

[専門分野] 臨床心理学、家族心理学、
児童福祉

相手を理解することで 自分自身を深く知る

心理学の入り口は、コミュニケーションをとおして相手を理解することです。どれほど時代が変化しても、人と人との関わりがある限り、心理学の学びは価値があるものです。私自身も、相手をよりよく理解したいと考えて、心理学を学び始めました。ところが、気づいてみると自身についての理解が深まり、自分に変化が起きていたのです。普段の生活で、自己の内側に目を向ける機会は多くありません。しかし、相手のことを考えるとき、私たちは「自分だったらどうする？」と自分に照らし合わせて考えます。相手を深く理解したい、能力を発揮してもらいたいと考える場面では、知らず知らずのうちに考えの矢印を自分に向けています。相手を変えたいと考えていくうちに、自然と自分も変わっていくのが、心理学のおもしろいところだと思います。

自分の頭で考える経験が 自身の価値を向上させる

心理学部ではノートパソコンが必携です。「調べてわかることは自分で調べる」を徹底しており、調べて予習してきた内容をもとに、授業で意見交換を行い、新たな気づきを得ることをめざします。さらにその気づきを周囲と共有し、教員からのフィードバックも活かして、また新たな気づきにつなげられる学びの場の提供に力を注いでいます。ITの進化などにより、現代はさまざまな問いに対する答えを見つけやすい時代です。しかし、本学部の学生には自分で考える価値を体感してほしいと思います。簡単に見つかる答えに満足せず、自分で考えてアクションを起こし、自分がより価値のある存在になれると実感してください。「自分の頭で考える」と、ことばにすると単純ですが、その後の人生に関わってくる大事なことです。貴重な大学の4年間を有意義な時間にするために、進路選択についても自ら調べ、自分の目標に合った学びの場を見つけてください。



水口 政人教授

[専門分野] ビジネス心理学、
コーチング心理学

能動的な思考を養う心理学

「考える→発言する→反応から気づく」 を追求すれば学びはさらにおもしろい

心理学にはさまざまな領域があります。扱うテーマやアプローチもそれぞれで異なり、学術的な部分を追求する、社会で実践的に活用するなど、学びの活かし方も多様です。

大切なのは、将来の自分の姿をイメージして、必要な学びや役立つ経験をえられる「場」を見つけることです。

Hot Topics

心理学部の取り組み

1 心理学×データサイエンス×BYODによる学びの充実

心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的にとらえることを学ぶ「データサイエンス科目」を開講します。心理学領域におけるデータサイエンスを学びながら、情報を取り扱う際の情報倫理やマナー等の基本的な素養も身につけることができます。また、学生が所持・携帯するノートPC等を使用するBYOD (Bring Your Own Device) のもと授業を展開し、学生の情報処理・情報活用スキルの向上もめざします。



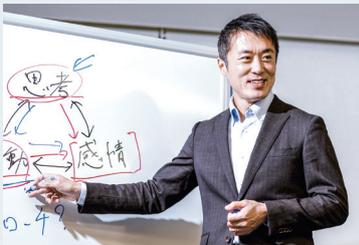
2 心理学部における課題解決型学習(PBL)の展開

「心理学プロジェクト社会連携演習」では、心理学部生のアイデアを積極的に活かした社会連携プロジェクトを実施します。心理学部生の2つのフィールドである「深草」「大宮」のキャンパス周辺地域と連携します。地域のリサーチやフィールドワーク、課題検討やプロジェクトの提案、実施をとおして、①人と人とのつながりを深く理解し、他者と共に行動・共創するチームを構成、②心理学部での学びを地域社会において照らし合わせることで、現代社会における心理学の役割や広がりを感じてもらうことをめざします。



3 心理学にまつわる多彩で特色ある講義

心理学部では、心理学の知識・スキルの活用を学ぶ多彩な講義が開講されます。例えば、「コーチング心理学」では、ビジネス組織などの新しい指導方法として注目されるコーチングについて、歴史や理論背景について理解し、活用される場面や期待される効果を学びます。「マインドフルネス・ヨーガ」では、マインドフルネスやヨーガとは何かを学ぶだけでなく、マインドフルネス・トレーニングとしてのヨーガを実践することにより、自らのウェルビーイングの向上をめざします。



4 心理職の国家資格「公認心理師」をめざす学び

公認心理師は、保健医療、福祉、教育、司法、産業の分野における活躍が期待されています。公認心理師の受験資格を取得するためには、学部で所定科目を履修し、卒業後、大学院での所定科目の履修または2年以上の実務経験が必要です。大宮キャンパスの一角に開設されている臨床心理相談室「大人と子どものこころのクリニック」は、公認心理師の受験をめざす学生の実習施設でもあり、実践的な学びを身につけることができます。



5 新施設「黎明館」2025年完成予定

心理学部設置に伴い、隣接する付属平安高校・中学校の敷地内に共有施設を建築します。大学施設として教室や研究室、臨床心理相談室「大人と子どものこころのクリニック」などを、中高施設として図書室や自習スペース、食堂を含むコミュニケーションスペースなどを配置。エントランス付近には、学生や生徒だけでなく地域住民や観光客など一般の方々も集うことのできるオープンテラスカフェを設置し、地域社会とのつながりの場を生み出します。



6 心理学の広がり

心理学の研究内容は、行動経済学やマーケティングの分野など、他の分野でも活用されています。例えば、「定価3,000円で販売」とするよりも、「定価10,000円から70%引きの3,000円で販売」とした方が、定価10,000円という情報の影響で、同じ商品であっても購買意欲を高めることができます。これは、「アンカリング効果」と呼ばれ、あらかじめ与えられた数値情報(アンカー)などが、情報を聞いた人の判断基準に影響を与える心理的な効果のことです。



4-Year Studies



4年間で何を学ぶ？

対人支援や良好な人間関係の構築に必要な
コミュニケーション・スキルを身につける

	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業後の進路
	1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester	
4年間の流れ	3つの柱を通じて心理学の基礎を学ぶ		専門的な学びを深めるための基盤をつくる		関心に合わせた専門的な学修をすすめる		4年間の学びを卒業研究にまとめる		<p>心理学の学びを活かしたさまざまな仕事</p> <p>民間企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マスコミ ● 商社 ● 情報通信 ● IT企業 ● 銀行・証券会社 ● メーカー（自動車・電機・医薬品等） ● 小売業 ● 観光・サービス業 ● 不動産業 ● 運輸業（航空・鉄道・郵便等） ● 電力・ガス業 ● 教育関係 <p>など</p> <p>公務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方・国家公務員 ● 警察官 ● 消防士 <p>など</p> <p>心理学を活かした「支援」の仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病院、クリニックの心理職員 ● 児童指導員 ● 学童保育スタッフ ● キャリアカウンセラー ● 学校心理士 ● 少年院の心理職員 ● 家庭裁判所調査官 ● 大学院進学（公認心理師資格取得） <p>など</p>
	<p>「心理学基礎科目」「データサイエンス科目」「キャリア啓発科目」の3つの柱（科目群）を置き、心理学の基礎から卒業後のキャリアも視野に入れた教育を展開します。</p>  <p>深草キャンパスで学ぶ</p>		<p>専門的な学びを深めるための基盤をつくる</p>		<p>関心に合わせた専門的な学修をすすめる</p>  <p>大宮キャンパスで学ぶ</p>		<p>4年間の学びを卒業研究にまとめる</p>		
学びの全体像	<p>教養教育科目</p> <p>フレッシューズゼミ</p> <p>心理学基礎演習</p> <p>心理学演習（卒業研究含む）</p>								
	<p>専門基礎科目</p> <p>心理学基礎科目</p> <p>心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学とつながるのかを理解する</p>				<p>専門発展科目</p> <p>生涯発達カウンセリングプログラム</p> <p>乳幼児と保護者の心と支援 子どもの心と支援 思春期・青年期の心と支援 成人・高齢者の心と支援</p>				
	<p>データサイエンス科目</p> <p>心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的にとらえる</p>				<p>プログラム横断科目</p> <p>データ心理学</p>				
	<p>キャリア啓発科目</p>				<p>関係支援とコミュニケーションプログラム</p> <p>産業・メンタルヘルス チーム学校 チーム医療 ネットワーク支援</p>				
	<p>キャリア形成科目</p> <p>公認心理師受験資格課程科目</p>								

[取得可能な免許・資格]

- 高等学校教諭一種免許状（公民）
- 公認心理師受験資格課程*
- 認定心理士
- 本願寺派教師資格（受験資格）

[めざす職業・進路]

- 企業（企画・開発職、営業職、販売職など）
- キャリアカウンセラー、学校心理士
- 児童福祉施設（生活指導員／児童指導員）
- 行政（心理専門職）
- 公務員（国家・地方）、NPO／NGO
- 教員（高等学校）

* 公認心理師の受験資格を取得するためには、学部における所定科目を履修し、卒業後に大学院に進学して所定科目を履修したうえで修了する必要があります。

Seminars

ゼミ紹介

伊東 秀章ゼミ



ふとした疑問を入りに、心理学の学びの土台を築く

園村 航生さん

1年生

(京都府 京都成章高等学校 出身)

伊東先生のゼミでは、班に分かれて興味のあるテーマについて調査・発表を行います。心理学の基礎的な考え方や実践方法を獲得するとともに、レポートや発表資料の作成手順、プレゼンテーションの方法など、大学生活で必須となるスキルも身につけます。

ゼミでの学びを通じて感じたのは、心理学はとても身近な学問だということです。以前、私たちは「集団においてリーダーが発生するのはなぜか」というテーマについて調査を行い「リーダーが発生すること自体、集団にとってメリットになるから」と結論づけました。また、人選には個々の性格や座る位置が大きく関与し、優れた特性をもっていなくても、状況次第で誰でもリーダーになる可能性があるとわかりました。自分たちの力で興味深い結論を導き出した達成感を得られ、心理学の研究プロセスを体験的に修得できたと感じています。

現在、私の班が取り組んでいる主題は「ペットが人に与える影響」です。犬は触れるペットである一方、魚は見て楽しむペットです。「触れる」ペットと「触れない」ペットで、癒しの効果や愛情に差はあるのか。そんなふとした疑問を出発点に調査をすすめています。最終的にどのような結論に着地するのか、今から楽しみです。

そもそも私が心理学に関心をもったのは、中高時代の部活動がきっかけでした。集団がうまく機能し、円滑にコミュニケーションを取るにはどうすれば良いのか。人間関係の築き方、摩擦を引き起こす心理的要因を知りたいと思い、心理学部を選びました。今後も集団心理について探究を深めていけば、日常生活やゼミ活動、就職活動にも役立つと考えます。調査や発表を繰り返すなかで、資料作成スキルやプレゼン能力、周囲との協働力も高まっていくはずですよ。

[卒業論文のテーマ(例)]

- 大学生のLGBTQ+に対するイメージについて
- 香りが心身に及ぼす心理学的効果
- 日本におけるマインドフルネスの拡大
- 震災による心理的影響の把握とケアに関する一考察
- イップスに陥る原因と克服へのプロセス
- 大学生における他者理解と共感経験について
- 大学生における幼少期の地域コミュニティと子育て観について
- 大学生におけるファッションとアイデンティティの関連性



堀内 詩子ゼミ



興味のアンテナを張り巡らせて、探究心を深めていく

田中 菜都央さん

1年生

(滋賀県立大津高等学校 出身)

分野や領域を特定せず、学びの裾野を広げていけるのが心理学の魅力です。堀内先生のゼミはグループワークが中心で、自分たちでテーマを設定するところから始まり、最終発表に向けて調査を行います。

1年生の段階でゼミに入るというのは驚かれるかもしれませんが。実際私は、ゼミに対して堅い印象を抱いていました。しかし蓋を開けてみてわかったのは、ゼミの学びは「何でもあり」。本格的で難しそう、というイメージは大きく覆されました。昔好きだったこと、今気になっている疑問、将来の目標など、手が届く範囲の事柄を深掘りすれば、それが研究になります。自由度が高く、自分次第で興味を広げていけるのが、ゼミで学ぶ醍醐味だと思います。

現在私たちは「心理学に関わるプロ」というテーマで調査を行っています。社会心理学、行動心理学など、心理学は多様に枝分かれしているた

め、数多くの専門家が存在します。調査によって、心理学がいかに幅広い分野に応用できるか、より理解を深められるはずですよ。

この学部のおもしろさは「たくさんコミュニケーションを取れる」点に尽きます。先生や学生、他学部の人とも対話する機会が豊富で、価値観や考え方の違いに触れるたびに刺激を受けています。対話のなかから生まれた疑問が、心理学の探究につながるかもしれません。交流を通じて、常にアンテナを張って興味の対象を探る習慣が身につきました。

私はいろんなことに興味があり、入学前は学部選びに迷っていました。最終的に心理学部を選択したのは「おもしろそう、格好よさそう」という直感を信じたからです。そして今は心理学を軸に、学問や分野の枠を飛び越えた学びを実現できています。知識の幅も格段に広がり、私の直感に間違いはなかったと実感しています。

- 子どもの遊びの発生要因、環境要因
- 大学生の幸福に関する一考察
- 大学生の学校適応感とコミュニケーション能力の関連について
- 大学生の心の居場所に関する研究

- 大学生が抱く大人イメージについて
- 日常生活の心理状態と夢の内容の関係性について
- コミュニケーションの回り方の違いにおける出生順位の影響
- 養育態度と承認欲求の二側面の関係

Life after Graduation



Graduate's Interview

山崎製パン株式会社 勤務

佐村木 優輝さん

文学部 臨床心理学科 2020年卒業
(大阪府 常翔学園高等学校 出身)

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

大学では、臨床心理学を中心に、認知・発達・社会心理学といった心理学を幅広く学びました。児童養護施設での実習では、現場における対応の難しさを痛感しながらも、座学では学びきれない経験をとおして心理学への理解が深まりました。卒業して数年経った今も、大学での講義や実習のすべてが社会人としての糧になっていると感じます。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

店長として店舗の運営を担っている現在、最も重要な任務はスタッフとのコミュニケーションだと考えています。円滑な人間関係を築くには、他人の気持ちや立場に配慮できること、自分の状況を客観的にとらえ整理することが求められます。そういった人とのつながりにおいて、大学で得た心理学の知見が活かされていると実感する毎日です。店舗での実績を積み重ね、今後は製品の開発にも携わりたいと思っています。

My Background



大学1・2年生

サークル活動でテーマパークのアトラクションに関する研究結果を発表。テーマ決めからのスタートで難しかったからこそ達成感がありました。



大学3年生

児童養護施設で実習を経験し、現場の状況がよくわかりました。講義では理解しきれなかったお話を聞き、大学での学びが深まったと思います。



大学4年生

卒業論文に取り組みました。実習をとおしての研究は大変でしたが、大学生生活の集大成を完成させることができたと自負しています。



現在

ベーカリー店舗で店長業務と運営を担っています。大学での経験と学びを活かし、スタッフとの円滑なコミュニケーションを心がけています。



Graduate's Interview

草津市役所 生涯学習課 勤務

河合 美衣菜さん

文学部 臨床心理学科 2022年卒業
(滋賀県立東大津高等学校 出身)

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

大学では臨床心理学を幅広く学んでいました。2年生以降はゼミに所属し、自分の興味のある分野によりフォーカスして学修をすすめ、段階的に専門性を高めていきました。卒業研究では「コミュニケーション」を大きなテーマとして論文を執筆しました。「人」という存在の多種多様さについて、心理学の観点から理解を深められたと感じています。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

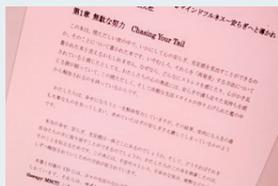
現在は市役所にて、大学と連携した講座や20歳のつどいの開催・準備、家庭教育推進事業を行うなど、市が主体となるイベントや事業に携わる業務をしています。自分の知らない分野や外部講師の方について一から調べるときに、数多くの文献を根気よく探した在学時の経験が情報収集力として役立っていると感じています。今後はさまざまな課で経験を積み、草津市民の方々がより快適に暮らせる市をつくってまいります。

My Background



大学1・2年生

臨床心理学以外にも、興味のある授業を幅広く受けていました。サークルにも所属し、充実した日々を過ごしていました。



大学3年生

コロナの影響でオンライン授業が多かった分、空き時間は卒業論文の準備をすすめ、文献探しにもじっくり取り組みました。



大学4年生

入念な準備と努力が実り、卒業研究は満足のいく出来に仕上げられました。親身に相談に乗ってくださった先生に感謝しています。



現在

大学の先生方から教わった考え方や聞く姿勢を活かして、草津市民の方や職場の人も日々良好な関係を築いています。

Careers

資格・
就職情報



心理学部の就職

心理学の専門的な学びの成果を活かしたキャリアデザイン

心理学部では、初年次の段階からキャリアに関する科目を配置し、卒業年次まで途切れることなく自身のキャリアについて考える教育を展開します。そのなかでは、一般的なキャリア教育にとどまらず、心理学の専門的な学びの成果を活かしたキャリアを考えます。対人支援の現場だけではなく、広く一般社会でも心理学の知識やコミュニケーション・スキルは活用できるものであり、例えば企業の企画・開発職や営業職等として生産性や創造性の向上に活用できるなど、学生がさまざまな進路において活躍し、より良い社会づくりのために貢献することが期待されます。

キャリアに関する科目

「キャリアと心理」

大学での学びを大学卒業後の進路選択や職業選択、長期的な人生設計に役立てられるように、講義やディスカッションをとおして「自己のあり方」を考えます。幅広い職業観や新しい時代の働き方と出会い「自己のあり方」を見つめ、大学で心理学を学ぶ意義やキャリアの根底にある心理についての理解をすすめて、ワークキャリアとライフキャリアについて自分の方針を決定し、主体的な大学生活を描くと共に、自己のキャリアプランニングに対するイメージを広げることをねらいとします。

「キャリアデザイン論」

将来、社会に参加することへの見通しを持つことと、自身のキャリアデザイン力の涵養をめざします。具体的には、キャリアに関する諸理論を概観し、キャリアデザインがなぜ必要とされているのかを考え、生涯をとおした持続的な就業力や自分らしい生き方を実現するための力を身につけることを目的とします。また、就職と退職について人生設計の視点から考えます。就職については、キャリアセンターとも協働し、業界・企業研究について取り上げ、退職については、老年期の発達課題といった視点からも検討します。



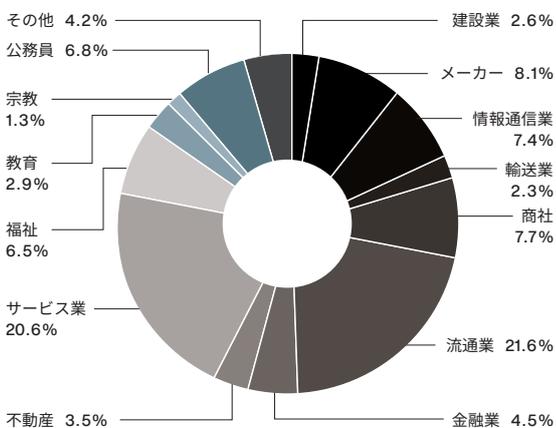
キャリアに関する科目では、心理専門職だけでなく一般企業で働いているゲストスピーカーの方々のお話を聞くことができました。いつもの講義だけではわからない現場のリアルな話を聞いたことがとても新鮮でした。さまざまなロールモデルと出会えたので今後のキャリア選択に活かしていきたいです。

田中 あかりさん

1年生（東京都 女子聖学院高等学校 出身）

就職状況 ※心理学部は2023年4月開設のため、文学部臨床心理学科の就職状況を掲載

文学部臨床心理学科 ※2018～2022年度卒業生実績



2023年度公認心理師試験合格率
[2022年度文学部臨床心理学専攻修了生実績]

81.2%

[主な就職先]

- 株式会社再春館製薬所
- スズキ株式会社
- 株式会社西利
- 日新薬品工業株式会社
- 株式会社パロマ
- 日野自動車株式会社
- 山崎製パン株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)
- カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
- 株式会社サンドラッグ
- 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
- 日本マクドナルド株式会社
- 株式会社ファーストリテイリング
- 株式会社ヨドバシカメラ
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 第一生命保険株式会社
- 大樹生命保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 富国生命保険相互会社
- 明治安田生命保険相互会社
- 一般財団法人近畿健康管理センター
- 国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院
- 独立行政法人国立病院機構 南京都病院
- 独立行政法人地域医療機能推進機構 近畿四国地区事務所
- 日本郵便株式会社
- 国立大学法人浜松医科大学 医学部附属病院
- SOMPO ケア株式会社
- SOMPO ケア株式会社 関西地区本部
- 国立大学法人大阪大学
- 大阪府教育委員会 教職員採用グループ
- 学校法人関西医科大学
- 学校法人同志社 同志社大学
- 株式会社 LITALICO
- 厚生労働省
- 農林水産省
- 法務省
- 国税庁
- 裁判所
- 大阪市役所
- 京都市役所 など

※主な就職先は業種順に記載



京阪ホテルズ&リゾート 株式会社 内定

大学では、心理学の学びと体育局・準硬式野球部マネージャーの活動を両立してきました。関西選抜のマネージャーと西日本選抜の学生委員長を兼任するなか、相手を思いやる気持ちや寄り添う姿勢、問題解決に向けた協働など、学びで得たスキルや経験を学内外で活かせることは、大きな自信となりました。これからも心理学的な観点からより良いサービスを追求め、付加価値の高い接客を提供していきたいと思ひます。

田中 千尋さん

文学部 臨床心理学科4年生
(京都府 龍谷大学付属平安高等学校 出身)

株式会社マイナビ 内定

クライアントの状況を瞬時に察する対応力が、企業が学生に求めているものを理解するうえで役立ちました。自分のやりたいことを明確にしようと幅広い企業を分析したことで、志望動機もより明確になったと感じています。企業と求職者の橋渡しを担う業務では、在学中に鍛えた傾聴力を活かせると考えています。双方が納得のいくマッチングを行い、担当するすべての方の新たな一歩を導ける存在になりたいです。

井上 真理子さん

文学部 臨床心理学科4年生
(大阪府 開明高等学校 出身)



龍谷大学大学院 文学研究科 臨床心理学専攻 進学

スクールカウンセラーをめざし、臨床心理分野を学んできました。この学科では、人間関係のなかで生じる悩みの原因を個人やその性格に求めない「システムズアプローチ」を取り上げます。私の考えと合致する「システムズアプローチ」にたく共感し、より深く学ぶべく大学院への進学を決めました。他大学では学ぶ機会が少ないこの手法に出会えたのは、龍谷大学だからこそ。専門性を高め、いつか教育現場でも活用したいです。

川崎 憂人さん

文学部 臨床心理学科4年生
(大阪府 明星高等学校 出身)



龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学 心理学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、
「人間・社会・自然」について深く考える人を育む。
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、
他者を受け容れ理解する力を持つ。
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、
自らの可能性を広げていきます。

大宮キャンパス

京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1

Tel 075-343-3317

sinri@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫
から好アクセス

JR 「大阪」駅 → 約38分

JR 「天王寺」駅 → 約52分

近鉄 「奈良」駅 → 約54分

JR 「三ノ宮」駅 → 約60分



<https://www.psy.ryukoku.ac.jp/>